

教員・教育委員会職員対象 311 教訓伝承・防災実地研修について（ご案内）

日頃より、本学の教育・研究活動につきまして、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

宮城教育大学は、本年度、東日本大震災の知見と教訓を広く共有し、学校現場で災害から児童・生徒のいのちを守り、子どもたちに「ともに生き抜く力」を身につけさせる防災教育の教育研修拠点として「311いのちを守る教育研修機構」を開設致しました。

本機構は、東日本大震災と同様の大津波被災が予想される南海トラフ巨大地震の警戒地域への教訓伝承を重点事業の一つと位置付けており、警戒地域の現職教員、教育委員会職員等を対象にした被災地視察研修を8月下旬に実施致したところです。

（8月実施の初回研修総括は機構 HP 参照 http://drr.miyakyo-u.ac.jp/report20190825_0828/）

研修は今後、年2回、3月と8月に定例開催する予定であり、2回目となる来年3月の開催を下記の通り、初回とほぼ同内容で企画致しました。つきましては、貴職下教育委員会職員及び現職教員の方々にもご参加いただきたく、派遣につきましてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日 令和2年3月25日（水）～28日（土）3泊4日
- 2 主催 国立大学法人宮城教育大学「311いのちを守る教育研修機構」
- 3 対象 南海トラフ巨大地震警戒地域の教員、教育委員会職員、関係部局職員 等
- 4 定員 20名程度
- 5 視察地 石巻市立大川小学校跡地・南三陸町戸倉小学校跡地・仙台市荒浜小学校震災遺構
気仙沼市立向洋高校震災遺構・陸前高田市・釜石市鶴住居地区 等
- 6 内容 被災地震災遺構・跡地の視察、被災地児童生徒支援 NPO の講話と意見交換、視察の総括・グループワーク 等 ※全日程の参加者には修了証を交付いたします。
- 7 費用 参加費：一人当たり 20,000 円（宿泊料・バス代・施設見学科等）
公務としてではなく、個人として参加される方は必ず保険に加入のうえご参加ください。
- 8 ルート 詳細については、別紙参照 <JR 仙台駅集合・仙台空港経由 JR 仙台駅解散>
- 9 備考 宮城教育大学の学生も同行します。

※ 申し込み・問い合わせは別紙／締め切り 令和2年1月31日（金） 先着順を基本とします

*旅行の手配は、本学が業務を委託する旅行代理店が行います。同代理店のキャンセルポリシーが適用されます。

*領収書は内訳を付して当該旅行代理店が発行します。

*参加費やキャンセルポリシーについてご不明な点は下記代理店へお問い合わせください。

その際、宮教大防災研修の件とお伝えください。

河北新報トラベル

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-10

電話 022-211-6960

E-mail: travel-kfc.info@kahoku-fc.co.jp

(予定)311教訓伝承・防災実地研修日程表

3月25日(水)		コンビニ等	トイレ
12:30	仙台駅東口 バスプール (12:20集合) 出発	○	○
13:30	道の駅三滝堂	○	○
14:30 ~ 17:00	気仙沼向洋高校遺構・伝承館着 視察 ・校舎4階まで津波に襲われ、遺構として保存された校舎と伝承館を視察 ・指定避難先の高台が津波にのみれ、住民93人が犠牲になった波路上の語り部案内	講師 佐藤克美館長ほか	○
17:00 ~ 18:30	大槌町・ホテルはまぎく泊	○	○
3月26日(木)		コンビニ等	トイレ
8:30	ホテル発	○	○
9:10 ~ 11:45	釜石市鶴住居・いのちをつなぐ未来館着 視察 ・釜石東中生と鶴住居小生が率先して高台避難し、難を逃れた現場を視察防災センターに逃げて160人近くが犠牲になった現場の視察 ・「いのちをつなぐ未来館」職員になった東中生菊池のどかさん、当時の東中副校長村上洋子さんの案内	講師 菊池 のどか氏 講師 村上 洋子氏	○
12:45 ~ 14:30	陸前高田着 昼食・視察 ・岩手県最大の犠牲が出た被災地の被災、復興の現場を視察 ・国営祈念公園で伝承施設見学など	講師 未定	○
15:30 ~ 17:30	南三陸町戸倉小着 視察 ・児童約100人が高台へ避難し、難を逃れた現場を視察 ・当時の校長麻生川敦氏の案内と意見交換	講師 麻生川 敦氏	
17:30 ~ 18:30	南三陸町・いりやど泊		
3月27日(金)		コンビニ等	トイレ
8:30	ホテル発	○	○
9:00 ~ 11:30	石巻市大川小着 視察 ・児童74人と教員10人が犠牲になった現場を視察 ・遺族で語り部活動をする元中学教員佐藤敏郎氏の案内	講師 佐藤 敏郎氏	仮設
12:15 ~ 13:15	女川町着 昼食	○	○
14:30 ~ 17:30	東松島市野蒜地区着 視察 ・指定避難先で犠牲が出た野蒜小跡視察、高台移転による復興現場を視察 ・避難の様子を知る当時小学6年生の語り部、志野ほのかさんの案内 ・避難先になった学校の実情について、元石巻西高校校長、斎藤幸男氏との意見交換	講師 志野 ほのか氏 講師 斎藤 幸男氏	○
18:30	仙台・ビジネスホテル泊	○	○
3月28日(土)		コンビニ等	トイレ
8:30 ~ 11:30	宮城教育大学集合 被災児童生徒支援NPOの講話と意見交換(90分) 石巻市・被災児童生徒支援の実情 震災直後から居場所、学習支援活動を続けるNPO「TEDIC」代表、門間優氏と意見交換 視察総括・グループワーク(90分)	講師 門間 優氏	○
11:30 ~ 12:30	宮城教育大学発 車中・昼食		
12:30 ~ 14:30	仙台市荒浜小学校遺構着 視察 ・津波に襲われ、地域住民の避難先にもなった現存校舎を視察 ・宮城教育大開発の手引書により遺構活用の防災教育を考察		○
15:00	仙台空港着	○	○
16:00	仙台駅着	○	○
備考			

※申し込み方法と問い合わせ先

お申し込み方法

【スマートフォンで】

QRコードを読み取り、フォームに入力ください。

申し込み直後に、申し込み完了メールが自動送信されます。

返信メールが届かない場合は、お手数でも下記問い合わせまで連絡ください。

【PCで】

宮城教育大学 311いのちを守る教育研修機構ホームページ

drr.miyakyo-u.ac.jp の「申し込み」から入力ください。

【その他】

電話でも受け付けています。気軽にご連絡ください。

022-214-3296



<http://drr.miyakyo-u.ac.jp>

問い合わせ先

宮城教育大学 防災教育研修機構

311いのちを守る教育研修機構

TEL：022-214-3296

E-mail：311drr-life@adm2.miyakyo-u.ac.jp